

Q 新型コロナウイルスのワクチン接種の状況

すぎた 杉田 やすゆき 恭之 議員



A ワクチン接種完了に向け、全庁を挙げて取り組む

問 年齢区分ごとの接種対象者は。

答 令和3年6月1日から12歳以上

に拡大され、約6万4000人となる見込みである。65歳以上が2万221人で、追加された12歳から15歳までが2436人である。

問 年齢区分ごとの接種完了予定は。

答 65歳以上が7月末頃、基礎疾患がある方、高齢者施設等の

従事者及び60歳から64歳までが8月末頃、一般接種となる59歳以下は11月中を予定している。

問 民間医療機関との連携は。

答 坂戸鶴ヶ島医師会と協議を重ね、かかりつけ医での個別接種を先行実施し、かかりつけ医がない方等のために集団接種を実施することにした。

問 一定期間で2回接種することでの懸念はあるか。

答 接種を希望される方が2回



の接種を確実に進めるよう、市では1回目の予約時に2回目も予約できる仕組みを導入した。
問 接種券の発送から接種完了までの作業で懸念はあるか。
答 これまで経験のない大規模な事業で、多くの時間と人力が必要である。今後もワクチン接種完了に向け、全庁を挙げて取り組んでいく。

Q 広報つるがしまの充実について

おがわ 小川 しげる 茂 議員



A 読者の輪を広げ、より効果的な情報共有に取り組む



広報つるがしま

問 広報はどれくらいの人に読まれているのか。

答 正確な読者数の把握は困難であるが、市内の全戸へ配布していることから、市民をはじめ多くの方に御覧いただいている。
問 市民アンケート（意見や提案）について。

答 市の歴史や地名の由来、店舗や市役所内の紹介など具体的な要望や、デザインに関するアドバイスなどをいただいている。

これらの市民の皆様からの貴重な御意見をしっかりと受け止め、更なる改善につながるよう活用していく。

問 多くの市民に親しんで読んでいただくための工夫は。

答 行事や市政情報のほか、健康や子育てに関する情報コーナーを設けるなど、幅広い世代のニーズに合わせた情報をお届けできるように工夫している。また、「専門用語を避けて分かりやすい言葉を用いる」、「タイトルを工夫する」など、市民に伝わりやすい文章となるように意識している。

問 今後の課題や展開について。
答 必要な情報発信はもとより、多くの市民に「読みたい」、「手に取ってみたい」と楽しみに待っていただけのような紙面づくりに挑戦していく。